

あどぼけいと

HSK

2018年10月号 No.212 [October] 定価 100円

1973年1月13日第三種郵便物承認 HSK通巻番号559号

発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会

発行日=2018年10月10日(毎月10日発行)

編集者=我妻 武

◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

ホームページ <http://npolife.net/>

あどぼけいと【advocate】=すべての人がもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。

特集

北海道胆振東部地震

P4~7



■障害者雇用偽装事件は差別にまみれる日本社会の縮図

今年の8月17日、毎日新聞が「中央省庁 障害者雇用水増し」の見出しでこの問題を報道した。その後、報道各社の調査等により、今回の問題は単なる「水増し事件」ではなく、国家的な「障害者雇用偽装事件」という意図的な行為であることは明らかである。

1960年に身体障害者雇用促進法が制定され、1976年には雇用が義務付けられた。今回の報道では、偽装は76年の義務化から今日まで行なわれており、国の行政機関が発表した実雇用率は2.49%から半分以下の1.19%であることが判明。これは、1977年の企業の雇用率が1.09%だったことからすれば、この時代にまで逆行したことになる。雇用人数も6,867人から3,407.5人となり3,460人分が偽装されていたことになる。不正が一番多いのは、国税庁の1,020人であった。事態は国の機関にとどまらず、地方自治体にまで偽装が広がっていたことである。

こうした報道に対し、各省庁の大臣や責任者は「解釈を謝っていた」「認識が違っていた」と言う答弁を繰り返し、石井国土相にいたっては「数が多いのは(職員)分母が多いから」と釈明。法定雇用率を定めた意義をまったく理解していないことを自ら暴露したことになる。同時に、民間企業等には雇用未達成分を「障害者雇用納付金」として月額50,000円を徴収しておきながら、国や自治体にはそれが適用されない。まさしく「官に甘く民に厳しく」というのが実態である。

さて、何故ここまで障害者雇用の水増しが続いたのだろうか？

一つ言えることは、国は障害者雇用に関心がないということだ。とりわけ中央省庁には「障害者にどんな仕事をさせればいいのか」という意識が蔓延しているという。どんな省庁でも切り出しを工夫すれば仕事はあるはず。民間では、いろんな工夫がなされている。その事実が、厚労省を通じて政府には届いていたはずだ。しかし日本政府はその工夫や仕事の切り出しが面倒くさかったのだ。厄介な障害者雇用は民間でやれ。こんな意識で40年以上に渡って日本の障害者雇用施策は進められてきたのである。政府がどんな言い訳しようが、今回の偽装問題は障害者の人権侵害であり、社会に対する背信行為である。断じて許すことは出来ない。

同時に、今回改めて問われているのは、蔓延する差別や排除を認める日本社会そのものである。

雇用納付金制度もしかり、2016年に施行された障害者差

別解消法もしかり。この国は、国の違反行為を罰するシステムが確立されていない。森友・加計問題で明らかになった国家がらみの「公文書偽装」に関しても行政やその責任者を罰する事はない。この歪んだ国のあり方が、今回の偽装事件を生み出したと断じてもいい。

政治に無関心であってはならない。

国民が政治家を選び、首相が官僚を選んでいる。

その選ばれた政治家や官僚は、国民は悪い事をするという前提で法や制度を作ってきた。しかし、この国の主権者たる私たちは国や行政は悪いことはしない、と信じてきたのがこの結果である。いまこそ主権者たる私たち一人ひとりが反省しなければならないだろう。

果たして、安倍政権にこの問題を解決することが出来ると思う国民はどれほどいるだろうか。



新聞やニュースで国や自治体が障害者の雇用を水増していた問題を聞いた時、怒りは当然ありましたが、それよりも「またかぁ!」というあきれと失望の思いのほうが強かったです。官僚、大臣、その上の方々は障害者のことをなんとも思ってない。各省庁あわせて、3000人以上が不正に人数をカウントされていたことがわかりました。各省庁で働いてる障害者の約半分が水増しだったことになり、雇用を促している中央省庁自らが数値を偽っていることになります。

いつもマフィアみたい格好をしてる大臣は解釈の仕方が違っていたと言いついたり、他の大臣は医師の診断書でカウントする事が習慣になっていたとか、障害者手帳の交付がなくても他の資料があれば障害者に当たると誤解していたなどと、障害者手帳がないと障害者と認めないって言ったのあんたらでしょ?ってツッコミを入れたくなるような嘘…もとい、苦しい言い訳を言っていました、これを民間の従業員

100人以上の企業がやったとすると、「障害者雇用促進法」で一人あたり月27000円の調整金を受け取れます。それが目当てで3000人以上の水増し?逆に雇用しないと一人あたり月5万円の納付金が課せられるんです。民間の企業が違反したら反則金を取られるのに、国や自治体は水増しした分の罰則はなくて、ただ頭下げて謝って(悪いと思ってなくても)、それだけで済まされる?法律違反でしょ?おかしくない?結局のところ、国や自治体は障害者を雇用してますよっという信用を得ただけなのではないかと、私個人的にはそうとは思えないのです。

あと、疑問に思ったのは、水増しされてた人ってどういう人なんだろう?これからどうなっちゃうんだろう?って思っていました。もし大臣たちの言い訳が本当なら、手帳を持ってない軽い障害がある人たちなんじゃないか?カウントされないから解雇という事にならないか心配です。

こころや ジョン・ウルク

日本は1960年「身体障害者雇用促進法」を制定して1976年事業主に身体障害者の雇用を義務付けた。以後、1997年には知的障害者と2018年には精神障害者にも適用されるようになった。中身を見ると42年間に1.5%の障害者法定雇用率から始め2.2%に引き上げたが、他の国(ドイツ5%、フランス6%、韓国3%など)と比べて見るとまだ低いのが現状である。今の障害者法定雇用率は従業員数が45.5人以上の対象企業が障害者を1人(2.2%)以上雇用することが義務付けられている制度である。これに満たない企業(従業員が100人以上)は一人あたり月50,000円の納付金を課せられる。その納付金は障害者雇用助成金などに運用されている。また、行政指導を実施し改善が見られない企業の名前を公表することになっている。このような制度を生み出し、法律の手本である行政機関が政策の根幹になる統計値を加工しその虚数を政策に適用して来た。この結果は国の障害者雇用促進政策が積極的に実施したとは言えない!また、今まで障害者雇用の政策が軽視されていたに違いないことになる。厳しい指導を受けざるを得なかった中小企業と、就労活動をして来た当事者には果たされなかった制度に失望感を与えられた。

今の障害者法定雇用率を維持または引き上げるために必須不可欠なことは何より障害者差別解消法である。障害者

就労活動には過渡期の障害者差別解消法を障害者差別禁止法に変えることで制度が機能すると思う。また、障害者雇用と連携し当事者の就労活動により手厚い支援を受けられる環境を整える必要が重要だ。いまの障害者差別解消法だけでは法的に拘束力が弱く障害者の雇用市場で適用するには限界があるためだ。しかし、企業が障害者を受け入れやすい支援体制づくりや企業の障害者雇用についてより深めることも忘れてはいけない。

良い制度の中に一つの項目が正しい制度を運営するに当たって妨げになってはいけない。障害者法定雇用率に付いている特例子会社制度が全体的な障害者法定雇用のバランスを崩す原因の一つであることだ。この制度は親会社(大手企業が多い)が特例子会社を通して障害者雇用率を得る制度だ。しかし、障害者の雇用を率先してリードしなければならない沢山の中堅企業がこの制度を利用している。この結果は国の障害者雇用促進政策が中堅企業には積極的に障害者雇用を取り込んでいるとこの障害者雇用率水増し以後、新たな制度の整備が次々出来るだろうと考えられるが、障害者の就労活動が持っている社会的な意味を改めて悩んでもらいたい。政府は10月までに第3者検証委員会が報告書をまとめることになっている。どんな結果であれこの制度の限界を見つめて新たなスタートになるのを期待したい。



■初めて経験する大地震

2018年(平成30年)9月6日(木)深夜3時7分59.3秒 震源地 胆振地方東部 最大震度7という大地震からちょうど一週間、少し心も落ち着いてきたので、当時の様子を書きたいと思います。「平成30年北海道胆振東部地震と名のついた今回の地震は、マグニチュード6.7という北海道で初めて観測される大変大きな地震でした。まちかど荘のある西区琴似でも、震度5ほどの揺れを観測しました。

■役に立った防災への心構え

地震があった深夜3時7分ごろ、体験した事のない強い揺れを感じ、ベッドを飛び出し皆の寝ている二階に駆け上がった(後に思うとあれだけ体が瞬時に動いたのは、防災センターでの地震体験の成果ではないだろうか)そこに住人の一人が目を丸くして立っていた。少し揺れが収まったので、下に降りて服を着て懐中電灯と携帯電話をもって、また二階に戻ると、何人かの住人が心配そうな顔をして外に出てきていた。一人の住人が、まだ外に出てこない住人の部屋のドアを大きくたたきみんなの安全を確認した。この先、どの様に待機していようか、また大きな地震がすぐ来るのではないかと考えながら心臓の鼓動がバクバク大きく脈打っていた、そんな中、石澤さんからの安否の電話で、少しだけ冷静になれた。知っている連絡先に出来るだ

けメールをして安否確認をした。返信が来るたびに落ち着きを取り戻し、もう一度みんなの顔を見回すとやはり不安そうな顔をしている。すっかり目が覚めてしまった皆は、ラジオを持ち出し、お互いに声を掛け合い気を使いあっていた。普段絶対に人にものを分けない住人も、お腹がすいただろうと皆にチョコレートを配っていた。一人だけ起きてこない住人の部屋の前に皆で座り込み外が明るくなるまで話をしていた。少し落ち着いてきたので、服を着たまま、すぐに逃げられるようにドアを開けて眠りに着くことにして、各々自分の部屋に戻った。

■仲間に対する支援体制

翌日の朝、石澤さんがまちかど荘に入ってくれたので、仲間の安否と非難が必要な仲間の送迎のために、本部を拠点に何人かのスタッフが集まり手分けをして車で迎えに行った。札幌市内は全面的に停電になっていたのも、信号機が働かない中、恐る恐る運転していた。建物の倒壊などは無いものの、町の雰囲気はいつもと違う。もちろん地下鉄もJRもバスもストップしていた。まちかど荘を避難所として避難してもらった。暮らし委員会でも備えておいた、一人暮らしをしている仲間の住所録が安否確認の際に役に立った。まだまだ半信半疑で進めていた災害時に対する備えは間違いではなかった。これからも更に力を入れて進めていかなくては。

■いざという時の備え

スーパーやコンビニなどには、この先の食料や電池などの蓄えをするために長蛇の列が出来ていた。ライフは「たねや」や「ひだまり」など、食品を扱う事業所を運営しているので、そこから食料を買って取りあえずは備えることが出来た。停電により冷蔵庫も機能しなくなっていた、冷蔵庫の中の食材をありったけ使ったカレーを、ひだまりのスタッフが応援にきて作ってくれた。夜になりまちかどに戻ると住人も含め、20人くらいの避難者と支えてくれる人たちがまちかど荘に集まっていた。皆で食べた暗がりの中のカレーの味は忘れられないものになった。食堂の床や廊下に布団を敷いて、余震に怯えながらこの日は眠りについた。

■大変な時こそ縁づくり

毎年行われている、下水道科学館のお祭りを控えた中の地震であった。ライフはそこで、出店をだしている。今年もその日に備え食材を発注していた。そのうちのひとつである「揚げたこ焼き」が、地震の次の日でもきちんと届いた。下水道祭りは中止になったので、たこ焼きをまちかど荘で揚げて、まだ電気が通っていない僕らと同じ地域の人を中心に「炊き出し」として提供しようという事になった。拡声器を使い炊き出しのアナウンスを車を走らせながら近所一帯にひろめた。いざ始まってみると500食を提供させていただいた。終わってみると何とも言えない清々しさが地震の緊張感を和らげてくれていた。炊き出しでかいた汗を流そうと水シャワーを浴び終えて風呂をあがった地震から二日目の19:30頃、電気が復旧した。

■経験を活かす

今後も災害時などには、まちかど荘を避難所として開けるように、避難所としての在り方や緊急時必要となる備えや心構えなど議論する必要がある。もっと長引いていたらどうなっていただろうか？災害時が冬の場合はどうなっていただろうか？他にもたくさんの課題を今回の地震は残してくれた。こんな時こそ、仲間同士の強い連帯が必要になる。議論をたくさんするうえで、連帯を強くしていければと思う。今回の地震の影響で、今も大変な思いをされている方々が一刻も早く元の生活に戻れますように。



9月7日(金) コンビニの前に長蛇の列



9月7日(金) ひだまり店舗前炊き出しの様子



北海道新聞一面

salvage place 避難所



■「まちかど荘に地震がやってきた」

こころや 山本 守一

朝の3時半のころ蜂谷君が部屋に入って来て「地震だ!地震だ」と起こしてくれて、慌てて廊下に出て激しい揺れを感じかなり長い間揺れていた。下から西田さんが来て「地震が来て大丈夫か?扉を開けて廊下に出てほしい。そして2階にいたほうがいい」といってみんな集まってきた。しばらくして電気が消えて非常灯がついたのでホッとした感じだった。

そして、朝を向かえて小野寺さんが朝食をいつものように作ってくれて食べて、ラジオを聴いて地震の震源地が厚真で震度7度だとか地盤の悪い東区のことだとか分かった。そしてスタッフ、ヘルパーだとか集まって来てくれたので、僕は何もできないのだったら本でも読んでた方がいいと思ったので部屋に入った。

昼ご飯の時に食堂に降りたときは、みんながいてそうめんを食べてその時には岡林さん、高志さん、岩崎さん等が来ていて何にも話もしないでまた部屋に閉じこもる感じでした。5時ごろ石澤さんが来てくれたと聞いたので食堂に行ったら丁度その時に夕飯のカレーライスを食べた。その時にライフの本部は電気がついたと聞いたらしいので「明日ライフに行こう」と次の日はライフでみんなで語っていた。

そしてまちかど荘に帰り、ザンギとおにぎりを食べて、お酒も少し飲んで怖いと思っていた気持ちがほぐれた。その時だった「電気がついてきてる」よとホッとするような事になった。僕はこの地震を目の当たりにし

て、いろんな人にしてもらいそして自分が何も出来ずにいて、何をどうすれば良かったのかわからなかった。

とにかくやっていただいた人に、速やかに言いたいと思います。本当にありがとうございました。

■「59歳の地震」

こころや 岡林 満美

あの日は普通に寝ていたら、ベランダの硝子がガタガタと鳴った。別に地震とか思わないで単に風だろうと思っていた。そしたら部屋が揺れ出して初めて地震だ!と。

少ししてから緊急非常装置が「停電です!」と2回言った。大した事ないだろうと思っていたけれど、長いこと揺れていたのが怖かった。

多分宮津さんが大浦さんが来てくれるのかな、と思いながら布団にじっとして待っていた。10分位して宮津さんが「大丈夫ですか?」と言いながら来てくれてホッとした。懐中電灯をつけてもらって落ち着いた。岩崎さんの様子を見に行ったら後、また戻ってきてくれました。

その日は「まちかど荘」があったから助かったし、個人的には楽しく過ごせて良かったと思います。でも地震で苦しんでいる人がいる事も忘れてはいけないと思います。



左 蘭結 宮津氏 右 こころや 岡林氏

共同住居まちかど荘

■「大きな揺れの中で考えていたこと」

きばりや 岩崎 佑司

今回の大きな地震で揺れている最中にまず真っ先に心配したことは、新しく購入したテレビが倒れて画面が割れてしまわないかということを考えてました。幸いにも倒れもせず無事でしたが、後は、停電にもなったので、冷蔵庫の中の食材がわるくならないかなあとか思っていました。明るくなってからまちかど荘に避難しましたが、普段から暮らしている仲間にとっては快適かもしれませんが、一時的に避難して一晩すごした自分にとっては、普段暮らしてる空間ではないので居心地が悪く感じました。

■「震災を経験し感じた事」

ひだまり 秋元 文男

今回の震災を経験した事で、普段の生活の中でできる防災対策『もしもの備え』備える意識を持ち続けていかなければいけないと思いました。

最低限の備えがあれば、震災後の過度な買い物も減るのではないのでしょうか。過度な買い物で困っていた人もいます。

『もしもの備え』があれば、そんな時にでも「冷静な判断」、「周囲への気づかい」、「やるべき事の優先順位」を考えられるようになるのではないかな？そうできる事が大切だと実感しました。

今回の震災があったことは、時間が経過し意識が薄れていくと思いますが、少しでもこの経験を活かしつつ、意識し続けることが大切だと思いました。

■「1人ぐらしとじしん」

たねや 蜂谷 和輝

9月6日胆振東部じしんで、ねていたらおおきなゆれで目を覚ましました。大きなゆれは、ぼくが12年前の朝6時半ごろのじしんで学校の寄宿舎にいたときくらいです。

こんかいのじしんで、こわかったけどぼうさいセンターに行って事前にじしんを体けんしておいて良かったです。

たです。

あのおおきなゆれでもおきなくて西田さんにじしんだよとおこされていたのは、川村さんでした。

停電は長くつづいて、まちかどそうは琴似周辺のライフの人のひなん所になっていました。まちかどそうのほうで、電気が通ったのは7日の夜6時すぎでした。

■「初めて避難をして」

札幌市リユースプラザ 工藤 昌幸

大きな揺れがおさまり、外が明るくなるとまちかど荘に住む西田さんから「まちかど荘に集合して下さい。」と電話がありました。

あの時、一人で居たら淋しい心境になっていたと思います。でも、まちかど荘の住人や避難して来た皆と一緒に食事・就寝を共にすることで安心感を持つことが出来て良かったです。

夜に石澤さんがローソクを灯してくれたり、西田さんが懐中電灯を天井に吊るしてくれたりしたことが印象に残っています。一緒に居てくれた皆さん本当にありがとうございました。

■「9月6日 じしんとひなんについて」

発寒工房 関 隆弘

最初の朝、3時に震度5で揺れたので、びっくりして目が覚めました。今までで初めてかと思います。

その後もまたくるんじゃないかと思いながら、会社に行くしたくをして、玄関のドアを少しだけあけて、窓も少しだけあけて待っていました。時間が8:00になると玉川さんが呼びに来てくれました。まちかど荘に避難するようにと言われました。昼飯と、夕食を食ってとっても良く思いました。自分の部屋に薬を取りに行き、父の部屋の様子をうかがうと、特に大丈夫と返事が来て少し安心しました。

残念なことは、電気が消えたり、水道が止まったり、トイレに入れなかったことです。

Care

震災で学ぶこと

玉川 よし子

停電が2日間続き不便さや、また地震があるんじゃないか?という不安のひびを過ごしています。

蛇口をひねると水が出、スイッチ1つで電気がつき。当たり前のことが当たり前でなくなった時困惑する。お金さえあれば何でも手に入る時代になり、物が大量生産される一方で再利用の活動も広がっていますが、今回の震災でそんなすべてのことを見通すいいきっかけになったのではないのでしょうか? 皆さんはどんな風に考えたでしょうか?

Art

生活介護 ころや



「ころやの芸術家達」

Sales

たねやに燻製の衝撃走る!

「魔法の一滴、燻製屋のマヨネーズ」

スモークラボさんから燻製醤油と燻製マヨネーズを仕入れさせて頂きました。

実際にスモークラボさんのお店に行き、みんなで選んで仕入れた商品です。

燻製醤油、その名も「魔法の一滴」は試食した瞬間、あまりのおいしさに言葉を失ったほど…。

燻製マヨネーズは、ただのマヨネーズと侮るなかれ、燻製することにより、独特の酸味が抑えられた、新たなマヨ体験でした。

この衝撃体験をしたい方はぜひ、お買い求めください!



Cook

ひだまり レシピ

「秋ですねえ! 鮭のエスカベッシュ」

材料 4人分

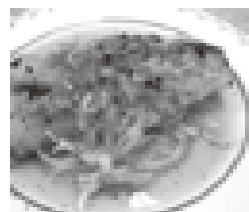
生鮭 …… 4切れ セロリ …… 1本 小麦粉 …… 大2
玉ねぎ …… 1/2個 塩 …… 小さじ1/4 オリーブオイル …… 適量
■ マリナード
トマト小…1個 レモン汁…大さじ3 しょうゆ …… 小2
ケイパー…大さじ2 塩 …… 小さじ2/3 オリーブオイル…大3
パセリのみじん切り…大さじ2 黒こしょう …… 少々

作り方

①玉ねぎは縦半分に切り繊維に逆らって薄切りし、水に数分さらして辛みを取る。その後、しっかりと水気を切る。②セロリは玉ねぎと同じくらいの長さに薄切りする。【マリナード作り③～⑤】③トマトは皮を湯むきし、横半分に切って種を取り除き、粗みじんに切る。④ボウルにケイパー、レモン汁、塩、しょうゆを合わせ、そこにオリーブオイルを少しずつ加えながら混ぜる。⑤④にトマトを入れて和える。⑥鮭は塩をふり、小麦粉をまぶす。⑦フライパンにオリーブオイルを約1cm深さまで注ぎ170～180℃に熱する。⑧⑦に⑥を入れ、皮がパリッとするまで、両面を揚げ焼く。⑨容器に切った玉ねぎとセロリを敷き、その上に揚げた魚を並べて、上からマリナードをかける。室温で15分以上漬ける。⑩皿に盛り、最後にパセリ、黒こしょうをふる。

【コツ・ポイント】

ポイントはオリーブオイルを使うことで、風味豊かな味に仕上がります。



北海道の『ゆめぴりか』

こころを込めて丁寧に精米してお届けいたします

2018年10月中旬、新米入荷予定

こころやでは、ご注文をいただいてから精米し、お届けしております。精米したての新鮮なお米の美味しさを、ぜひご賞味ください。



北海道の優良品種
極良食味米

3kg

1,590円

5kg

2,650円

契約農家による低農薬米 だから安心・安全—

北海道勇払郡厚真町で、自然と付き合いながら農業を続けて50年、本田農場の『ゆめぴりか』を使用しています。

山深い厚真川の水田用水を利用し、除草剤・イモチ防除剤を各1回しか使用しない低農薬栽培をすることで、安心・安全な美味しい米づくりに取り組んでいます。



● 厚真町
本田農場産

お客様のお好みに応じて
精米いたします

玄米

7分づき

白米

美味しくて栄養たっぷりの「7分づき」

玄米と白米の間のお米で、両方の良さを味わう方法が「7分づき米」です。玄米の栄養素と白米の美味しさの“いいところ取り”として今大きな注目を集めています。白米と比べるとビタミン・ミネラル・食物繊維を豊富に含んでいるため栄養面でも優れています。

年間契約販売は
10kg単位のご注文からとなります

《有効期限》

2018年10月1日～2019年9月30日の1年間

5%
OFF

60kg以上年間契約をしていただくと、値段より5%引かせていただきます。

通常31,800円が → **30,210円**

1,590円OFF!

送料
無料

年間60kg以上ご契約のお客様は、配送料無料とさせていただきます。

※対象は琴似エリアのみとさせていただきます。周辺応相談。

お買い求め・年間契約のお申込みは



生活介護事業

こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F

TEL 011-614-1871

FAX 011-613-9323

平成30年度産低農薬米『ゆめぴりか』年間契約販売申込書

ご契約者	フリガナ		
	お名前		
	住所	〒 —	
	電話番号	() —	FAX
お届け先		☐ 申し込み住所と同一 ☐ その他（下記に記載の住所） 店頭受取（いずれかに○）【こころや・たねや・ひだまり】	
		〒 —	

契約数量	年間	お支払い方法	☐ 現金支払（ご来店予定日 月 日） 営業時間：平日10:00～17:00
	Kg		☐ 銀行振込（ご入金予定日 月 日）

振込先	銀行名	☐ 北海信用金庫 琴似支店	口座番号	普通 4297231
	口座名	特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ こころや		
	銀行名	☐ 北洋銀行 琴似中央支店	口座番号	普通 4660616
	口座名	特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ こころや		
	銀行名	☐ ゆうちょ銀行	口座番号	振替口座 02710-4-63485
	口座名	NPO札幌障害者活動支援センターライフ		

※振り込んだ銀行名にチェックを入れてください。

申込書郵送先 生活介護事業 こころや
 〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F **TEL** 011-614-1871

FAX (011)613-9323

		事務記入欄				
こころや記入欄	価格	契約表	弥生入力	入金	日付	受付担当者



2018

NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ

共働サービス たねや

お歳暮特選ギフト

商品番号1

三大がにセット

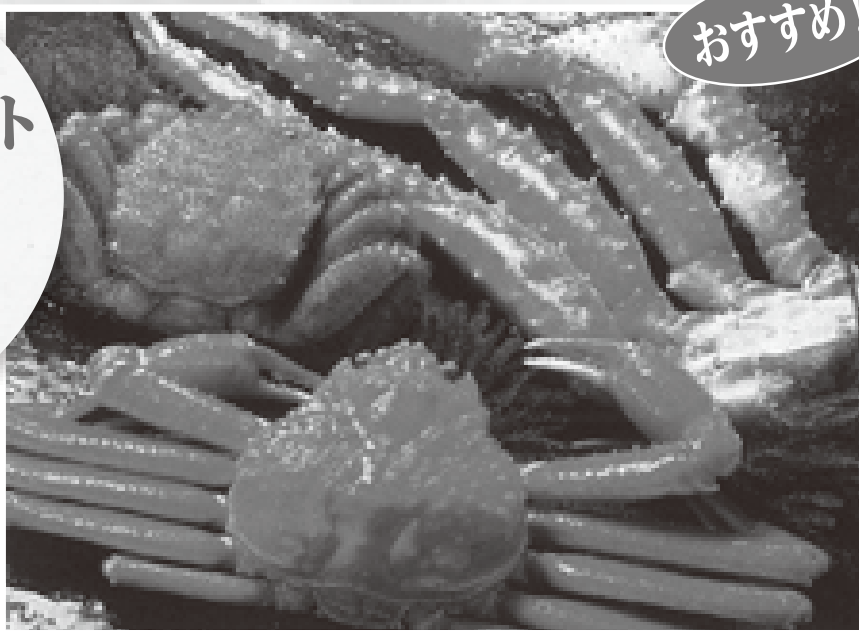
- ボイルたらばかにセクション 800g
- ボイル毛がに姿 1尾(400g)
- ボイルずわいがに姿 1尾(600g)

※原料事情により、サイズは写真と異なる場合があります。

たらばがに・ずわいがに・毛がにの贅沢なセットです。見た目にも大変豪華なセットは贈答用にも最適です。

税込価格

14,500円



おすすめ!

おすすめ!



商品番号2

かにとぼたんえびのしゃぶしゃぶセット

- 生冷ずわいがにポーション 10本
- 生冷ぼたんえび開き 10尾
- しゃぶしゃぶのタレ 25mlx4袋
- 昆布 10g

※原料事情により、サイズは写真と異なる場合があります。

税込価格

7,300円

ずわいがには食べやすくポーションにしました。ぼたんえびは刺身用の大きいサイズを使用しており、子供から大人まで堪能できる甘味が秀逸です。自家用にも贈答用にも使える贅沢なセットです。

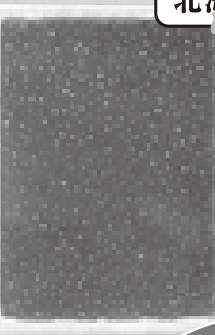
主原料
北海道産



商品番号3

いくら醤油漬化粧箱入

●300g



おすすめ!

北海道産の秋鮭卵を原料にした新鮮ないくら醤油漬です。化粧箱入りですので、贈答用にも最適です。

税込価格

6,500円

北の海鮮めぐり・特

おすすめ!



商品
番号

4 北海道産限定開き物セット

北海道産の原料に限定し、前浜の新鮮で美味しい魚を詰め合えました。

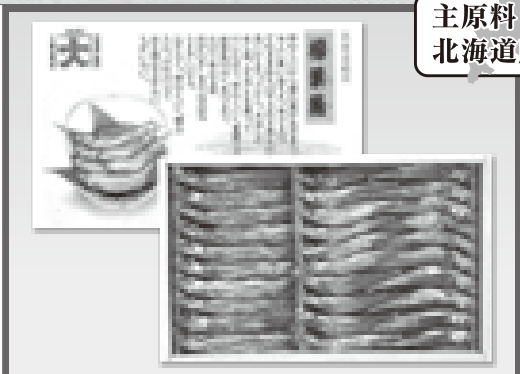
- ほっけ開き 2枚 ●開きさんま 2尾
- ししゃも オス3尾・メス3尾
- こまい 200g

主原料
北海道産

税込価格 **3,800円**

商品
番号

し
し
や
も



主原料
北海道産

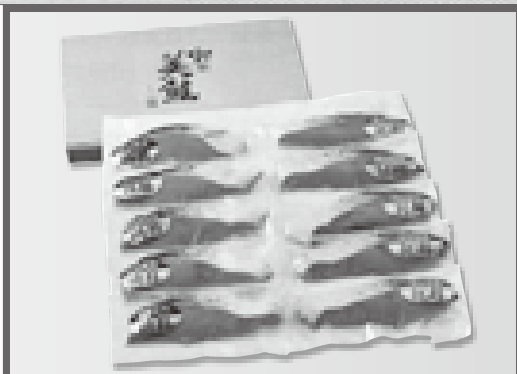
- オス 10尾
- メス 20尾

税込価格 **4,800円**

カネダイ大野商店の生干ししゃもは、焼くとジューツと脂がしたり、身はふっくらと上品な味わい。ししゃも本来の繊細な味わいをお楽しみください。

商品
番号

紅
鮭
・
時
鮭
切
身
セ
ツ
ト



- 紅鮭切身 80g 1切真空×5入
- 時鮭切身 80g 1切真空×5入

税込価格 **5,000円**

色鮮やかな紅鮭と、焼いたそばからしみ出す脂と、コクのある皮で食通に人気の時鮭を、それぞれ便利な個別真空包装でお届けします。

※原料事情により、サイズは写真と異なる場合があります。

商品
番号

ぼ
た
ん
え
び
&
帆
立



- ぼたんえび 350g
- 帆立貝柱 350g

税込価格 **6,600円**

肉厚な北海道産ほたてと、とろりとした食感を楽しめるぼたんえび。食感自慢のコンビ贈答用にも。

商品
番号

か
に
鍋
セ
ツ
ト



期間限定

- 生冷ずわいがにカット 200g
- 生冷たらばがにカット 450g
- かに入り団子 180g ●かにみそ 20g
- タレ 50g×2袋 ●だし昆布 15g

税込価格 **5,700円**

かにのおいしさを盛り込んだ、贅沢な鍋セット。鍋の中でどんどん増すかにの旨みを堪能できます。

(取扱い: 9月~3月)

特選ギフト

NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ

共働サービス たねや

TEL:011-613-0611 FAX:011-644-0088

〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1階

数に限りがありますので、売り切れの際はご容赦ください。

商品
番号

9
毛がに・帆立・いくらセット



主原料
北海道産

- ボイル毛がに姿 1尾(400g)
- 帆立貝柱 250g
- いくら醤油漬 100g

税込価格

7,700円

解凍後、毛がには殻をむいて、ほたてといくらはそのままお召し上がりください。

※原料事情により、サイズは写真と異なる場合があります。

商品
番号

10
ボイルカットかに



- ボイルたらばかにカット 700g

税込価格

8,500円

食べやすく殻に切れ目を入れました。
そのままでも、料理に使うも、自由自在。

商品
番号

11
毛がに2尾



おすすめ!

主原料
北海道産

- ボイル毛がに姿 2尾(800g)

税込価格

7,400円

北海道の美味しい毛がにを2尾セットにしました。特有の旨味をお楽しみください。

商品
番号

12
あわび松前漬



- あわび松前漬 280g

税込価格

4,200円

あわびを贅沢に盛り付けた松前漬です。
贈答用にも最適です。

商品
番号

13
味付け数の子 味くらべ



- 味付け数の子 濃口 200g
- 味付け数の子 薄口 200g

税込価格

3,500円

やさしい歯ざわりの数の子を濃口と薄口の代表的な2つの味付けでお楽しみください。

商品
番号

14
特A米ゆめぴりか



低農薬米

- ゆめぴりか(新米)7.5kg ギフト用

税込価格

3,980円

ふっくらとした食感、粘りと甘み、品質の高さが自慢です。
「美味しいから食べてほしい」あなたの大切な人に届けます。

商品注文書

No.

お支払方法をお選び下さい(番号を○で囲んで下さい)

- 現金 (代引はお取り扱いしておりません)
- 銀行振込 / 北洋銀行 琴似中央支店 (普)口座番号:4616684
特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
共働サービス たねや 理事長 我妻 武
(振込手数料はお客様負担となりますのでご了承下さい)

※送料について 商品番号14以外はクール便での発送になります

クール宅急便	道内 900円	道外 1,400円	宅急便	道内 550円	道外 1,080円
--------	---------	-----------	-----	---------	-----------

一部地域を除き、全国配送可能(沖縄県、離島は別途 300円が加算されます)

FAX(011)644-0088 入金後の発送となります

太枠内のご記入をお願いいたします

■お名前のフリガナは必ずご記入下さい。 ■郵便番号・電話番号(市外局番を含む)は必ずご記入下さい。

差出人	お名前	フリガナ	電話番号
			() -
	ご住所	郵便番号 (-)	

お届先 ①	お名前	フリガナ	電話番号		
			() -		
	ご住所	郵便番号 (-)	商品番号		
	のし	無・有	のし有の場合		
	頭書き	お名前			
	商品金額	円	送料	円	合計金額
配達希望日	月	日	月	日	

お届先 ②	お名前	フリガナ	電話番号		
			() -		
	ご住所	郵便番号 (-)	商品番号		
	のし	無・有	のし有の場合		
	頭書き	お名前			
	商品金額	円	送料	円	合計金額
配達希望日	月	日	月	日	

ご注文内容・送料・お支払方法のご確認をお願いいたします

※取り扱い事業所

NPO法人 札幌障害者活動支援センターライフ

担当事業所 共働サービス **たねや**

TEL:011-613-0611 FAX:011-644-0088

Mail:taneya@npolife.net

事務記入欄

受付日	受付担当	入金チェック	発送日	発送担当	担当者印

ライフ事業所一覧

◇NPOライフ本部事務局

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

作業 共働事業所きばりや 就労継続支援事業A型
TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

生活 ころこや 生活介護事業
TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

〒063-0812
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMOI F

飲食 コン・プリオひだまり 就労継続支援事業B型
TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

〒063-0812
札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

販売 共働サービスたねや 就労継続支援事業B型
TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

介護 ヘルパーステーション繭結(ゆい) 指定居宅介護事業
TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

〒063-0804
札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

営業 アウトソーシングセンター元気ジョブ 札幌市委託事業
TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

印刷 共働事業所もじや 札幌市障がい者協働事業所
TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

相談 相談室らいふ 相談支援事業所
TEL 080-6076-1474 FAX 011-596-6584

〒064-0808
札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園203

飲食 Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリア) 就労継続支援事業A型
TEL・FAX 011-758-6533

〒060-0808
札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

環境 リサイクルプラザ発寒工房 札幌市委託事業
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

〒063-0835
札幌市西区発寒15条14丁目2-30

環境 札幌市リユースプラザ 札幌市委託事業
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

URL <http://www.reuseplaza.jp>

〒004-0003
札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

10月

イベントカレンダー

6日

(土)

札幌市リユースプラザ

リユースマルシェ
10:00~15:00

8日

(月)

「屯田の森 秋祭り!」
10:00~15:00
西区民センター前

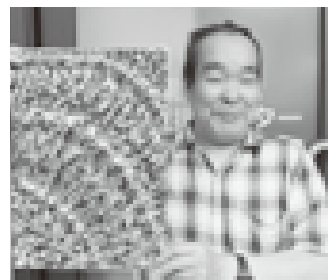
最新の情報は、
ホームページを
ご覧ください!

<http://www.npolife.net>

NPOライフ

Q 検索

松アート
世界へ
羽ばたく



松村亨さんの『松アート』がパラリンアート応援企業の年賀状デザインに採用されました。

何日もかけて完成した自信作です。もしかすると、松アートの年賀状を皆さんも目にするかもしれません。

自由な発想の創作が得意な松村さん。『選ばれてとても嬉しかった。これからTシャツのデザインなどもやってみたい』と笑顔いっぱいでした。

2018年4月に非営利組織評価センター(JCNE)が提供する組織評価制度において、第三者組織評価(基礎評価)の認定を受けました。



詳しい詳細はこちらのHPをご覧ください。

■非営利組織評価センター

<https://jcne.or.jp/org/n2018e046/>

ご協力ありがとうございます

8月分・順不同・敬称略

■アドボケイト購読料

築地 政樹 宮崎 貴寛 斎藤 まこと
松浦 美知子 横路 由美子 関根 光男
高石 晴俊 川村 勇
(社福)草の実会 匿名1名

■寄付金

宮崎 貴寛
(社福)草の実会 (株)特殊衣料 匿名1名

■賛同会員会費

川村 勇 高石 晴俊

■協賛団体会員費

(社福)草の実会 (特非)サムリブ

■ビル建設基金

我妻 武 石澤 利巳

■震災支援応援カンパ

埼玉ライフ応援団

ライフカンパ のご案内

ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

■北洋銀行 琴似中央支店 普通 4606735

特定非営利活動法人
札幌市障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武

■北海道信用金庫 琴似支店 普通 3296744

特定非営利活動法人
札幌市障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武

■ゆうちょ銀行 振込口座 02710-4-63485

NPO札幌障害者活動支援センターライフ

※アドボケイトに同封の払込取扱票もご利用になれます。

編集後記

10月にはいり、徐々に季節が移り変わっていくのが判るようになってきました。この10月という月は私がかじやに入り、ライフの一員となった月ということで自分にとって大事な月です。よく1年はあっという間だなと思うのですが、最近時間は流れる早さがランダムになってきてとても不思議に感じます。これはきっと働き始めて色々な出会いや体験、経験が増えたからだと思うのでとても嬉しく思っています。初心と感謝を忘れず、これからも頑張っていくのでどうぞよろしくをお願いします。(佐藤 之寛)

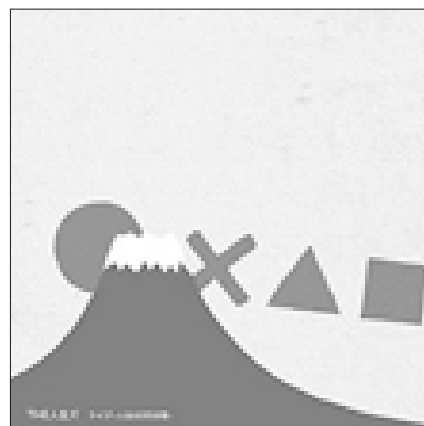
月替わりコラム THE 人生ズ“山”

もじや 野崎 友宏

がんばれ!だいじょうぶだあ! やってやれ!だいじょうぶだから
ころぶだろう 泣けるだろう そんなすべてをうけとめてやる
ぶれないぜ きめたんだ たとえあとになにがあるうとも
がんばれ!だいじょうぶだあ! やってやれ!だいじょうぶだから

THE人生ズ1stライブアルバム 「ライブ~人生の35分間~」に収録の一曲です。
THE人生ズのライブを見に行った際に、一緒に出演していた他のバンドの方がMCでこんなことを言っていました。

「人生ズに“だいじょうぶだ!”って言われたら、何でも大丈夫になる気がしてくる」
まさしくそんな気がしてくる一曲です。機会がありましたら、是非聞いてみてください。



アドボケイト
2018年10月号
No.212 定価 100円

2018年10月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号559号 1973年1月13日第三種郵便物承認 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
編集者=我妻 武

◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
E-mail main_lifemail@npolife.net ホームページ <http://npolife.net/> 郵便振替口座 02710-4-63485